



# 教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課  
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)  
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280  
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課マスコットキャラクター しえん君



## 教育支援課 研修・研究グループ

### 授業支援システム「SKYMENU」が、全小学校でもクラウド化！

令和7年4月より、授業支援 Web システム「SKYMENU Cloud」が、市内全小学校で使用できるようになります（L-Gate に表示されているアイコンからログインします）。システムを使用するにあたり、4月3日に小学校の先生方へ向け、オンラインにて説明会を行います（説明会の詳細は、3/4 学校掲示板にて掲載済）。

クラウド化されたことで、今後は学校外でもインターネットに接続された環境下であれば、課題の配信等ができるようになります。課題を受け取った児童・生徒は、取り組んだ後、各家庭から課題を提出することが可能になります。

また「SKYMENU Teacher's Community Site」にアクセスすると、全国の実践事例や発表ノートの素材を閲覧したりダウンロードして活用したりすることも可能です（四日市市のアカウントでユーザー登録すると、さらに多くの資料活用ができます）。ライブ公開提出箱や気づきメモなど、新たな機能も加わりました（マニュアル等については「サポート・マニュアル(図中の   )」のリンク先に、テキストや動画等で公開されています）。先行して導入している中学校では、SKYMENU Cloud の新機能を使ってすでに実践されている先生方がいるので、学びの一体化等を利用しながら情報交換することも可能です。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善にお役立てください。



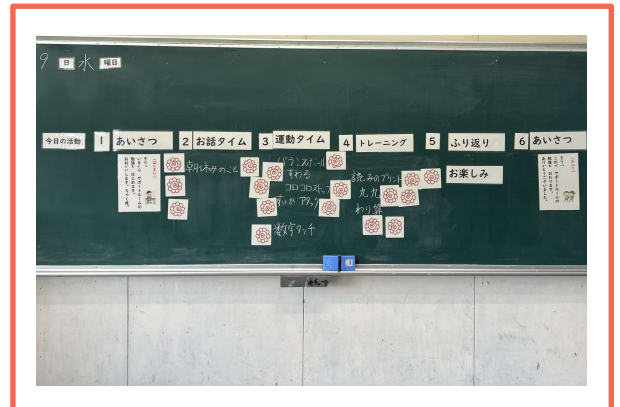
## 教育支援課 特別支援教育・相談グループ

### 小学校サポートルーム実践交流会



小学校サポートルームでは、発達等に課題がある児童に対して週1時間程度の取り出し授業を行い、学校全体の特別支援教育の推進をはかっています。令和5年度までに、通級指導教室設置校を除く全ての小学校にサポートルームが設置されました。

令和6年度は、夏季休業中に小学校サポートルームの担当者が参加する実践交流会を開催しました。小学校3校の実践発表が行われた後、担当者同士でグループになり、日頃の指導内容などについて情報交換を行いました。参加者からは、「実践内容はとても具体的で、すぐに実践してみたかった」「保護者との連携や校内職員への情報発信は、今後真似していきたい点が多々あり、よい機会となった」という感想がよせられました。



# 研究報告

令和6年度、教育支援課で取り組んできた研究を報告します。それぞれの研究にあたり、御協力いただきました学校及び関係教職員の皆様、関係機関に心よりお礼申し上げます。この研究の成果が、今後の実践に広く活用されることを願います。

## 第420集

研修・研究グループ 研修員 林 直哉

### 若手教員の力を引き出す先輩教員の見方・考え方 — 授業リフレクションの分析を通して —

論文本文はこちら



#### 執筆者からの一言

「授業がうまくいかないこと」が若手教員の大きな悩みの一つであることが、最近の調査研究から分かっています。本研究で得られた知見は、そうした悩みを抱える若手教員に応える一助となると考えます。



本研究では、周りの先輩教員が若手教員の授業づくりをどのように支えていけばよいのか検討しました。研究対象者は、教育アドバイザー2名とその指導を受ける若手教員2名としました。そして、授業リフレクション時の発話記録を分析し、若手教員の力を引き出す支援のあり方について検討しました。

その結果、次の2点が明らかになりました。1点目は、先輩教員は若手教員自身の立場になって、その視点からものごとを捉え、思いや願いに共感して見ていたことです。2点目は、先輩教員が自身の見方・考え方をそのまま伝えるだけでなく、若手教員の一步先を見据え、タイミングよく新たな見方を示していたことです。

こうした支援によって、若手教員が「授業を見てもらうことの意義を実感する」ことができたため、若手教員とかがかわるさまざまな立場の先輩教員にとって、授業を通じたかかわりの好例として、汎用できると考えられました。

## 第421集

登校サポートセンター 指導員 川合 由佳 倉田 優希

田中 寿子 山田 芽衣

### 情動可視化アプリを活用した不登校未然防止 —「心の天気」から見える予兆—

論文本文はこちら



#### 執筆者からの一言

児童生徒が毎日入力する「心の天気」の移り変わりを会話の糸口とすることで、教員と生徒のコミュニケーションの活性化や、教育相談の充実、早期支援に役立つことが期待できます。



1人1台端末を活用した、児童生徒一人ひとりの情動可視化アプリ「心の天気」のデータに表れる情動の振幅（天気の変化）を分析することで、不登校未然防止に活用できないかを検証しました。

本研究では、調査対象校の生徒が1日2回入力した心の天気データをそれぞれ数値化し、週毎に分析し、情動の振幅の大きさを通常登校生徒と不登校及び不登校リスク群の生徒それぞれを比較分析しました。また、情動可視化アプリ「心の天気」の利用に関するアンケートを教員と生徒に実施しました。

その結果、不登校及び不登校リスク群の生徒の情動の振幅（天気の変化）が通常登校生徒と比較して大きく、通常登校生徒とは異なる傾向が見られることがわかりました。また、アンケート結果からは「心の天気」を利用して、教員と生徒とのコミュニケーションの回数が増えたことや教員間での生徒の情報共有の機会が増えたと感じている割合が高いことがわかりました。

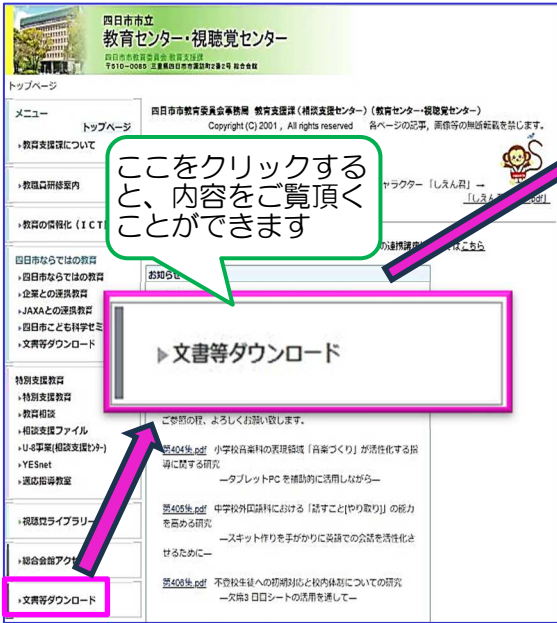


各研究の詳しい内容は、教育支援課までお問い合わせください。また、四日市市立教育センター・視聴覚センターのホームページで、閲覧・ダウンロードをして頂けます。  
(下記をご参照ください)



**「研究報告」を活用しよう！**

上述の「研究報告」の詳細は、四日市市立教育センター・視聴覚センターのホームページ（「文書等ダウンロード」のページ）で、ご覧頂けます。また、今夏の教職員研修講座で研究報告を行います。ご参照頂き、日々の実践にご活用願います！



四日市市教育センターでは、機関紙センターニュースを随時、年度末に研究報告を発行しています。

相次支援ファイル⇒相次支援ファイルのページからダウンロードしてください。

**教育センターニュース**

令和6年度発行	6年度No.1	6年度No.2		
令和5年度発行	5年度No.1	5年度No.2		
令和4年度発行	4年度No.1	4年度No.2	4年度No.3	
令和3年度発行	3年度No.1	3年度No.2	3年度No.3	
令和2年度発行	2年度No.1			
令和元年度発行	元年度No.1	元年度No.2	元年度No.3	
平成30年度発行	30年度No.1	30年度No.2	30年度No.3	30年度No.4
平成29年度発行	29年度No.1	29年度No.2	29年度No.3	29年度No.4
平成28年度発行	28年度No.1	28年度No.2		
平成27年度発行	27年度No.1	27年度No.2	27年度No.3	27年度No.4

過去のセンターニュースはこちら

研究報告は、ページの下にリンクがあります。

平成26年度以前の教育センターニュースはアーカイブからご覧ください。

**研究調査報告**

研究年度	研究番号	課題・内容
令和6年度	第421集	情動可視化アプリを活用した不登校未然防止
	第420集	若手教員の力を引き出す先輩教員の見方・考え方
	概要版	令和6年度研究調査報告 第420集～第421集 概要
令和5年度	第419集	不登校の未然防止についての一考察
	第418集	社会科副読本『のびゆく四日市』の活用を促進させる研究
	第417集	タブレット端末の音声入力機能を活用した課題解決への見通しをもつことに関する研究
令和4年度	概要版	令和5年度研究調査報告 第417集～第419集 概要
	第416集	校内ふれあい教室での支援についての一考察
	第415集	音声文字化アプリによって実現される学びの可能性
令和3年度	概要版	令和4年度研究調査報告 第415集～第416集 概要
	第414集	校内ふれあい教室での支援に関する研究
	第413集	生徒会活動が活性化するクラウド活用に関する研究
	概要版	令和3年度研究調査報告 第413集～第414集 概要
	第412集	別室登校生徒支援の方向性を考える校内体制についての研究

各論文とその概要版は  
こちらから⇒



**令和7年度夏季教職員研修講座に注目！研究報告を行います！**

日時・場所	内容
令和7年7月25日(金) 14:00～16:30 (総合会館7階 第1研修室)	登校サポート教員研修会②にて 「情動可視化アプリを活用した不登校未然防止」 — 「心の天気」から見える予兆 — 令和6年度登校サポートセンター指導員 川合 由佳
令和7年8月7日(木) 9:30～12:00 (総合会館7階 第1研修室)	講演 「授業づくりを通して 変わる教員の学び方」 ～教員養成と教職員研修に関わる立場から～ 三重大学教育学部 准教授 加納 岳拓 研究発表 「若手教員の力を引き出す先輩教員の見方・考え方」 — 授業リフレクションの分析を通して — 令和6年度研修員 林 直哉